

ミカド

MILKADOO



成人向
コミック



私をこんなところに
監禁して
どうするつもり？

.....



手荒なマネをして
すまなかったね
ドクター・ミカド

実はあなたに
どうしても
作ってもらいたいものが
あってね

作る…？

悪いけど
私は
そういう仕事は…

ああ
分かってる

ドクター・ミカドは
自らの力を
軍事利用されることを
嫌っているのは
知っている

私も別に
そんな無粋なものを
作ってもらおうとは思
っていない

……

じゃあ
何をお望みかしら？

私があなたに
作ってもらいたい薬は

25

1つは
最強の媚薬

できればスプレー状が
望ましいな

どんな淑女でもこれを
嗅がされたら
一瞬で墮ちるほど
強力なものだ

もう1つは

一日に何度
射精しても
勃起力が衰えないほどの
強力な精力増強剤

こちらに関しては
形状はおまかせするよ

その二つを
つくってもらえるのであれば
何も危害は加えないし

そこから
無条件で解放することを
約束しよう

どうだね？

.....

.....

ここはおとなしく
従つておいたほうが
賢明か...

わかったわ

それくらいだったら
簡単よ

お望みどおり
作ってあげるわ

でも
何もかも思い通りに
なるとしたら大間違いよ

絶対
一泡ふかせてやるん
だから！

ミカド

作 / クリムゾン

おお
さすがは
ドクター・ミカド

もう
完成したのか！

ええ

これが
媚薬のほう

ご希望どおり
スプレー状に
しておいたわ

口や鼻から
嗅がせてもいいし

直接
性器の粘膜に
吹き付けても
効果があるわよ

で……こつちが
精力増強剤ね

浣腸の要領で
お尻の穴から
注入すれば
10時間くらい
効果が持続するわ

ついでに射精時の
気持ちよさも
倍増するように
しておいたから



さ
これでいいでしょ

早くここから
出してくれる



おお
すばらしい

ありがたく
頂戴するよ
ドクター・ミカド



約束だからな

ああ
分かってる

ガチャ

この扉は
開放しよう



その前に…

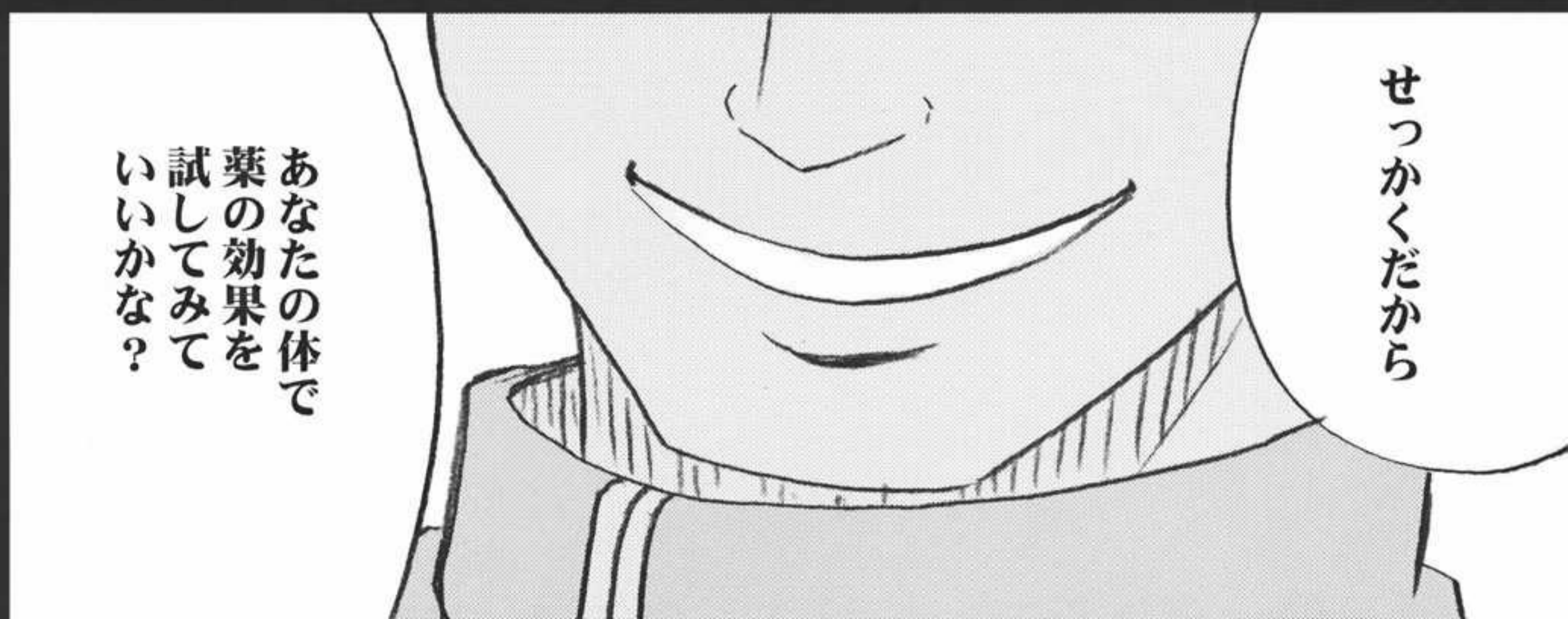


だが…



なっ！

何を
するの！？



せっかくだから

あなたの体で
薬の効果を
試してみ
ていいかな？



なっ!

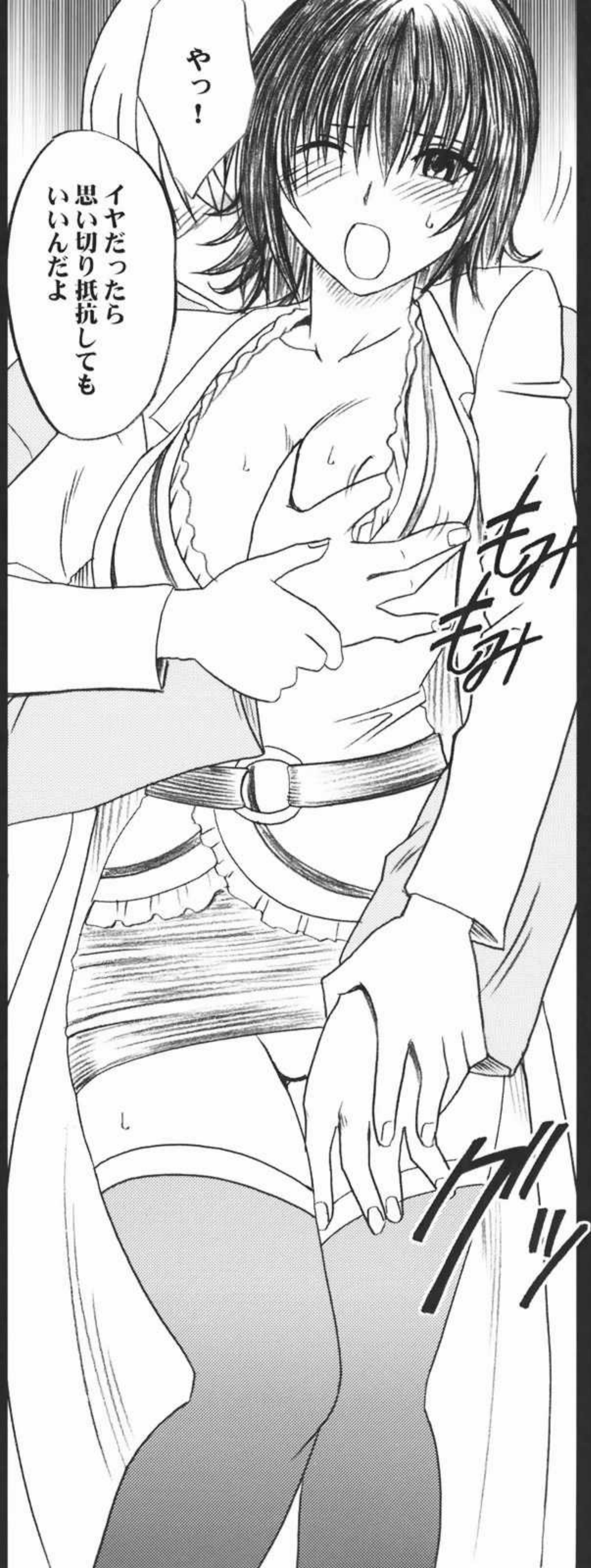
そんな
約束が...!



もちろん
そんな約束は
してなかったね

これはあくまでも
契約外のことだから

強制はしない







フフフ…先ほどは
帰りたいと
言ってたが…

んっ！

…!!

今はどうかな？

んっ！

んっ！

んっ！

帰りたいかな？

それとも…

んっ！

んっ！

ここで
私にイカせて
もらいたいのかな？

あッ!!

はあ!!

どっちかな？

ビクッ
ビクッ

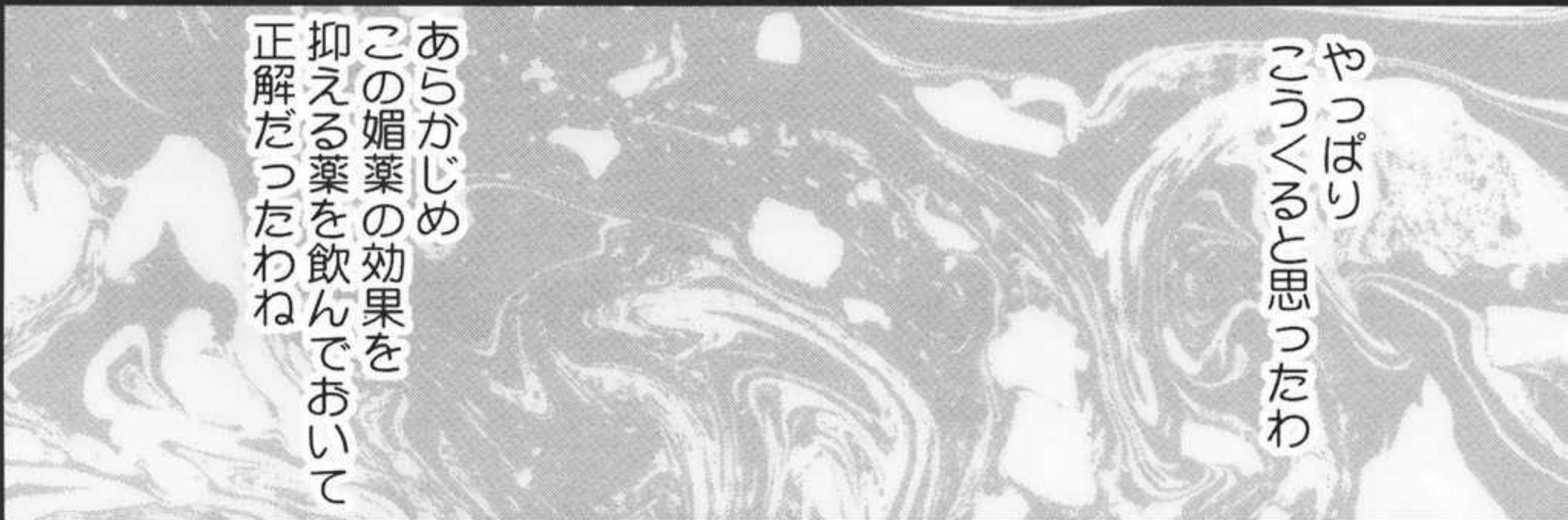
ビクッ

ビクッ

ビクッ

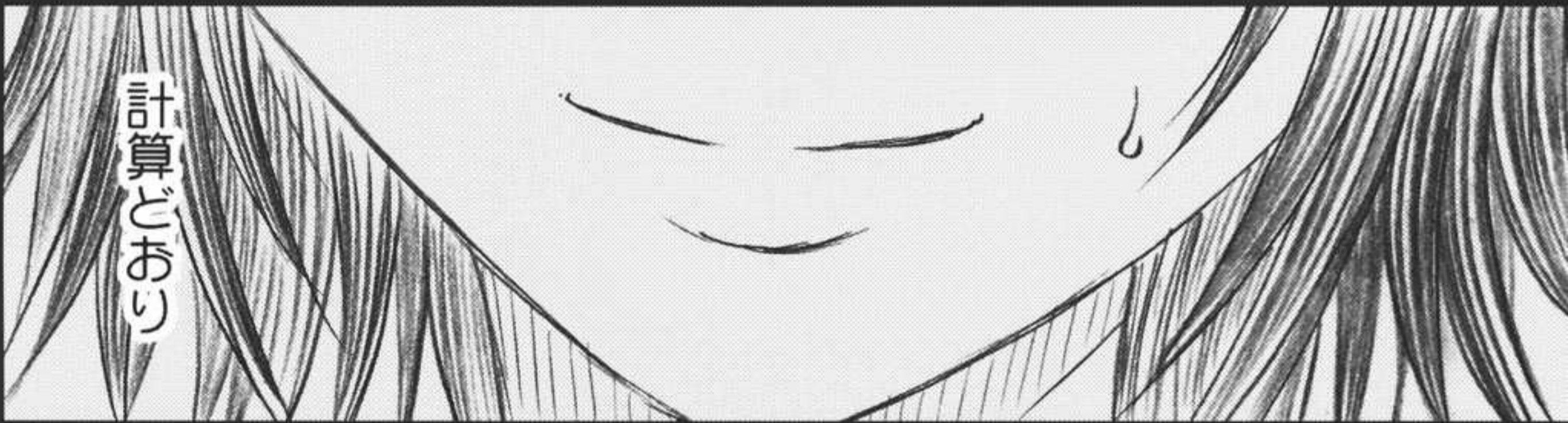


やっぱりね



やっぱり
こじへんと思ったわ

あらかじめ
この媚薬の効果を
抑える薬を飲んでおいて
正解だったわね



計算どおり



お…おねがい…

あとは…



も…もう
ガマンできないわあ

おねがい

あなたの
ペニスでイカせてえ



あの薬を注入して
バキバキになった
あなたのペニスで
突きまくってえ…!!



お尻をこっちに
むけるんだ

は…はやく…
はやくう!



フフフ…
よし
いいだろう

バックから
突きまくってやる



では…

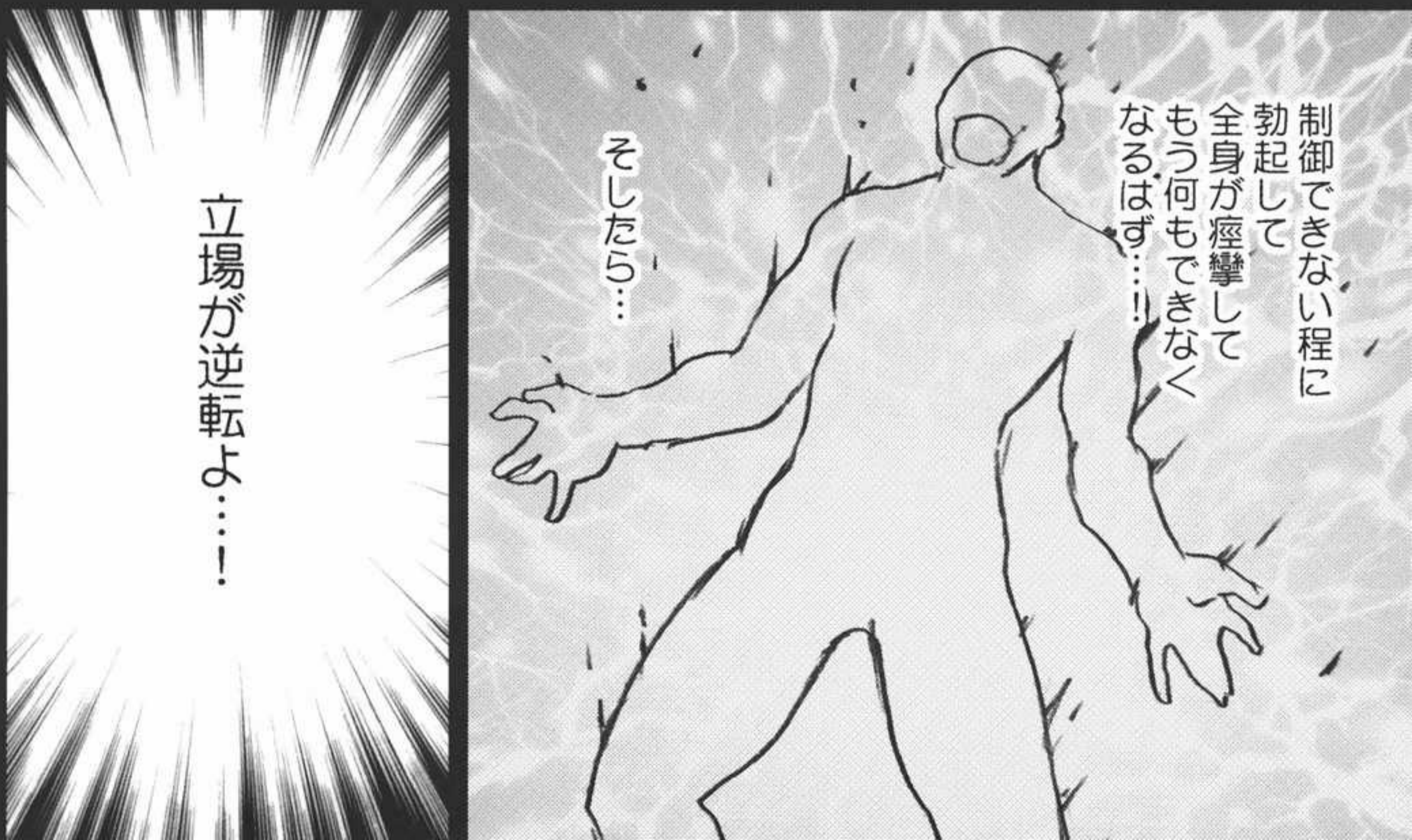
さっそく
この薬を…



かかったわね

そつちの
精力増強剤

限界を超えるくらい
強力につくってあるからね



制御できない程に
勃起して
全身が痙攣して
もう何もできなく
なるはず…!!

そしたら…

立場が逆転よ…!!



うむ
分かってるが…

これを女性に
使ったらどうなるか
ちよつと気になったものでね

えっ！
ダメツ！

そんなっ！

アッ
アッ
アッ



ああ
ああ
ああ
ああ
!!!





これは女性に
使っては……!

だ…ダメよ…



おお…

すばらしい
効果だ



どうダメなのか
実験してみないと
分からないのでは
ないですか?

やっ!

びびる
びびる



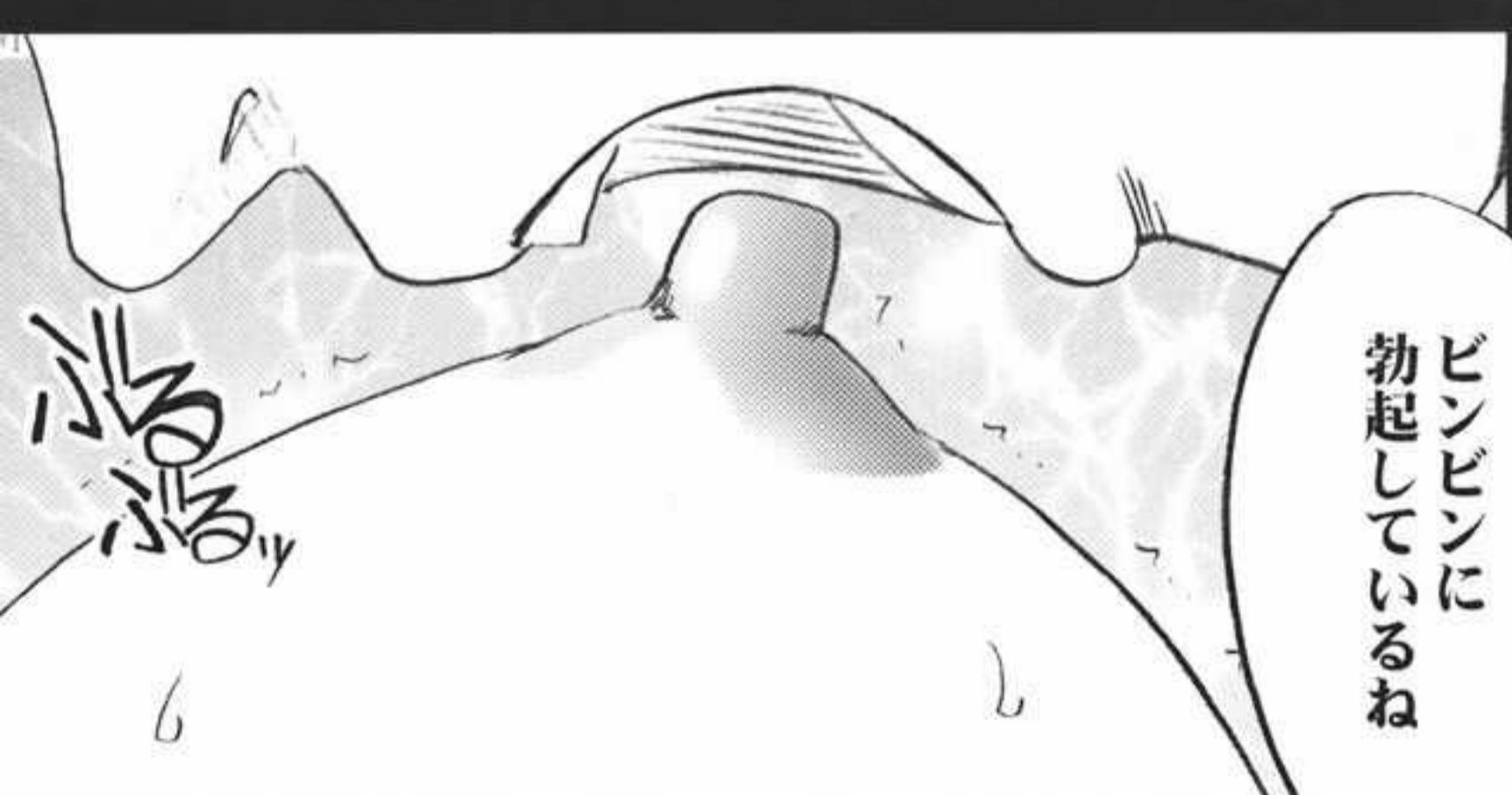
びびる

びびる
びびる

……!



おおっ
すごい反応だ



ピンピンに
勃起しているね



乳首もすごい
硬さだ



アッ!





あああ
あああ
ツッ!
あ

ツッ
ツッ



まるで
男性の射精の
ようだ

これはこれは
派手に愛液が
噴出したな



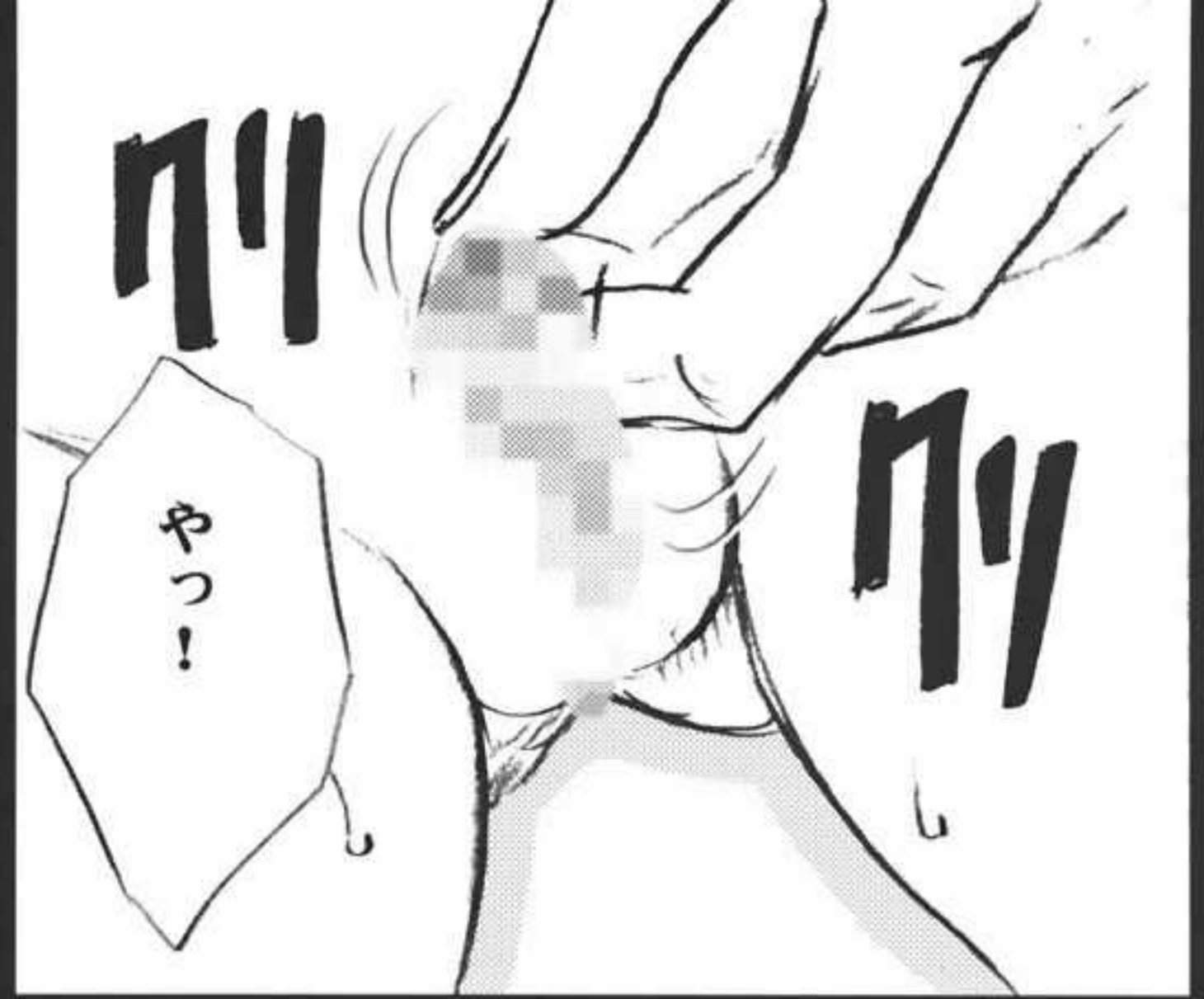
では
次は…

このビンビンに
膨れ上がった
クリトリスを
苛め抜いてあげましょう

……!



はあう！



ん

ん

ん



そんなつ……！

ん！！

んん！！

この男…
精力増強剤に仕掛けられた罠に
気づいていたと言っの？

ギシ
ギシ
ギシ

クリトリスが
小指くらいの
大きさに膨れ上がっているね

カッ
カッ

ギョッ
ギョッ

しごくことが
できるくらいの
サイズだな

あ!!

ビクッ
ビクッ

こんなはずじゃ
なかったのに……!

ビクッ
ビクッ

ん!!

ビクッ
ビクッ

くっ!!



私がこの男を
翻弄するはずだったのに...

ん!!

ん!!

ちゅるる

あぁ!

心も体も……!

あぁ!

私は……!

今……!

あぁ!

何もかも翻弄されてる……!

あぁ!

あぁ!

あぁ!

あぁ!



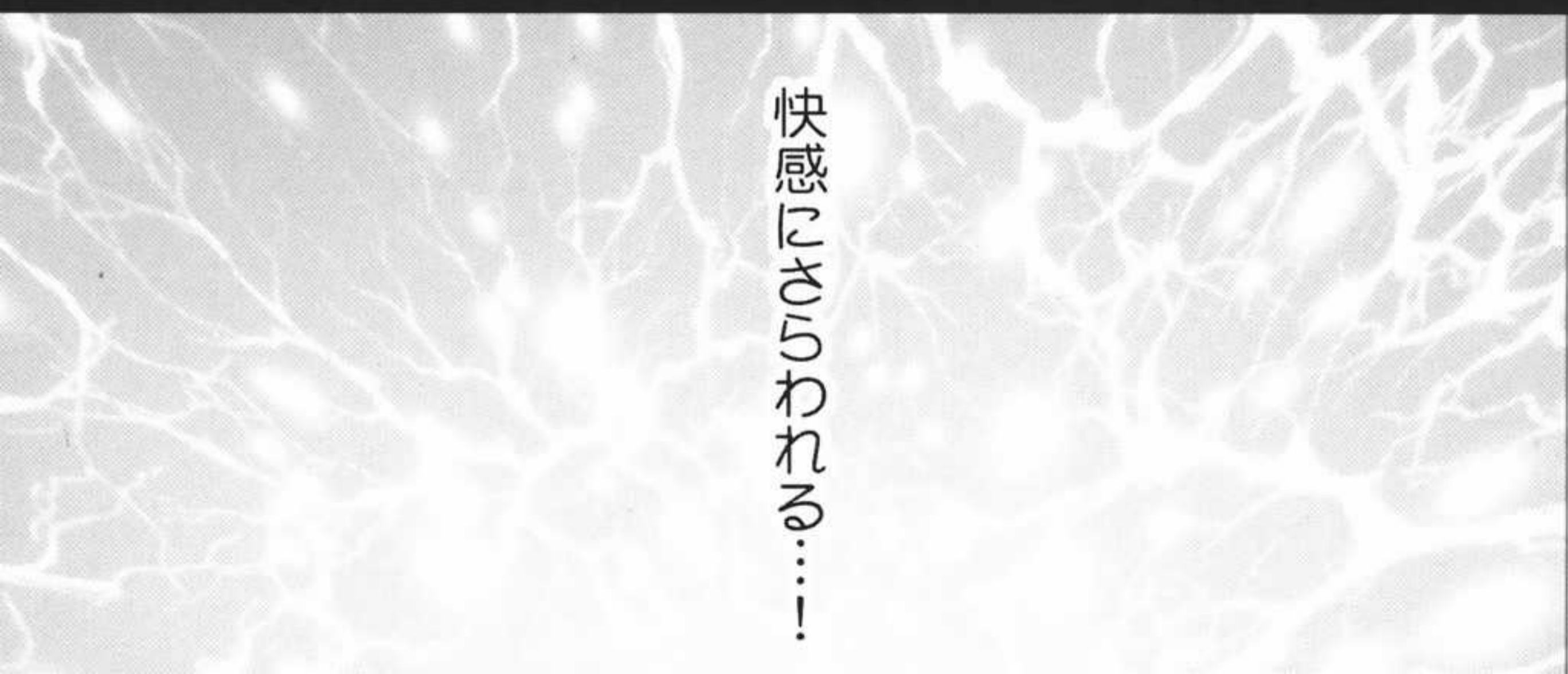
ダメ………!



思考が……



ちゅるる



快感にさらわれる……!



んん
んん
っん
!

んんんんんん

んんんんんん

んんんんんん

自らが仕掛けた罠に
はまってしまった
ミカドの体は
もう制御不能だった

ん
ちゅっ

ん
っ…

ん
っ!

ん
っ

ん
っ



男性用精力増強剤のより
鋭敏化したクリトリスへの衝撃は
さすがのミカドでも
未体験のものだった

とまどう肢体に
男は休みなく
追い討ちをかけてくる



クリトリスを
苛めぬかれるたびに
男性の射精にも似た
快感が体を駆け巡り

聡明なミカドの
脳を焼き尽くしていった

はあッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ



ゆるし……て……

おねがい……
もう……!

ゆるし
ゆるし



許す？

何のことかな？

ああ
そうか

確か
ペニスを
入れてほしいって
言ってたか？



これはこれは
もうしわけない

ドクターの体で
遊ぶのに夢中に
なりすぎて
すっかり忘れていたよ

やつ！

では
今度こそ
ペニスをあげましょう

いやつ！

いやつ





んんん!!

んんん!!



んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!



んんん!!

んんん!!



お..
おねがいます!

じ...じめん
なさい!

許してッ..
ください!



あッ!!

クワッ



んん?

何のことかな?



何を許して
ほしいのかな?

あッ..

はッ..

もしかして
気持ちよすぎて
死にそうなのかな?



よしよし
じゃあ
早めに出してあげるよ

あッ!!

ズンッ

ズンッ

ラッ!!

ズンッ

ズンッ

んん!!



あッ!!

ズンッ

ズンッ



んんんん
んんんん
ッん
!



あとがき

自分で作った薬を利用して犯されるというストーリーを思いついたのがミカド先生で同人誌を描くきっかけになりました。
今までララ 古手川では同人誌を出してきましたがミカド先生では初です。
作画面では髪の外はねが難しく苦勞しました。
体に関してはララや古手川よりも描きやすかったです。



ゲーム
だろ？

オレたちは骨の髄まで

**セグアVSニンテルド！
コンシューム大陸の占有率をめぐる
ハードな戦争！**

蒼い世界の中心で

公式WEBサイトにて週刊連載中です。
毎週金曜日に更新しています。
趣味でやっているので全話無料公開です。

「蒼い世界」「セガキュー」などで
検索したら見つかると思います。
<http://oab.sakura.ne.jp/gia/>



「ミカド」

2009年 3月30日 初版発行

発行 クリムゾン

発行者 クリムゾン

印刷 大陽出版株式会社

<http://www.alles.or.jp/~uir>





やっ!

イヤだったら
思い切り抵抗しても
いいんだよ

自らが仕掛けた罠にはまってしまった
ミカドの体はもう制御不能だった。



も...もう
ガマンできないわあ

おねがい

あなたの
ペニスでイカせて

男性用精力増強剤のより
鋭敏化したクリトリスへの衝撃は
さすがのミカドでも未体験のものだった。



かせて
たいのかな?

らかな?

とまどう肢体に男は休みなく追い討ちをかけてくる。
クリトリスを苛めぬかれるたびに
男性の射精にも似た快感が体を駆け巡り
聡明なミカドの脳を焼き尽くしていった...

